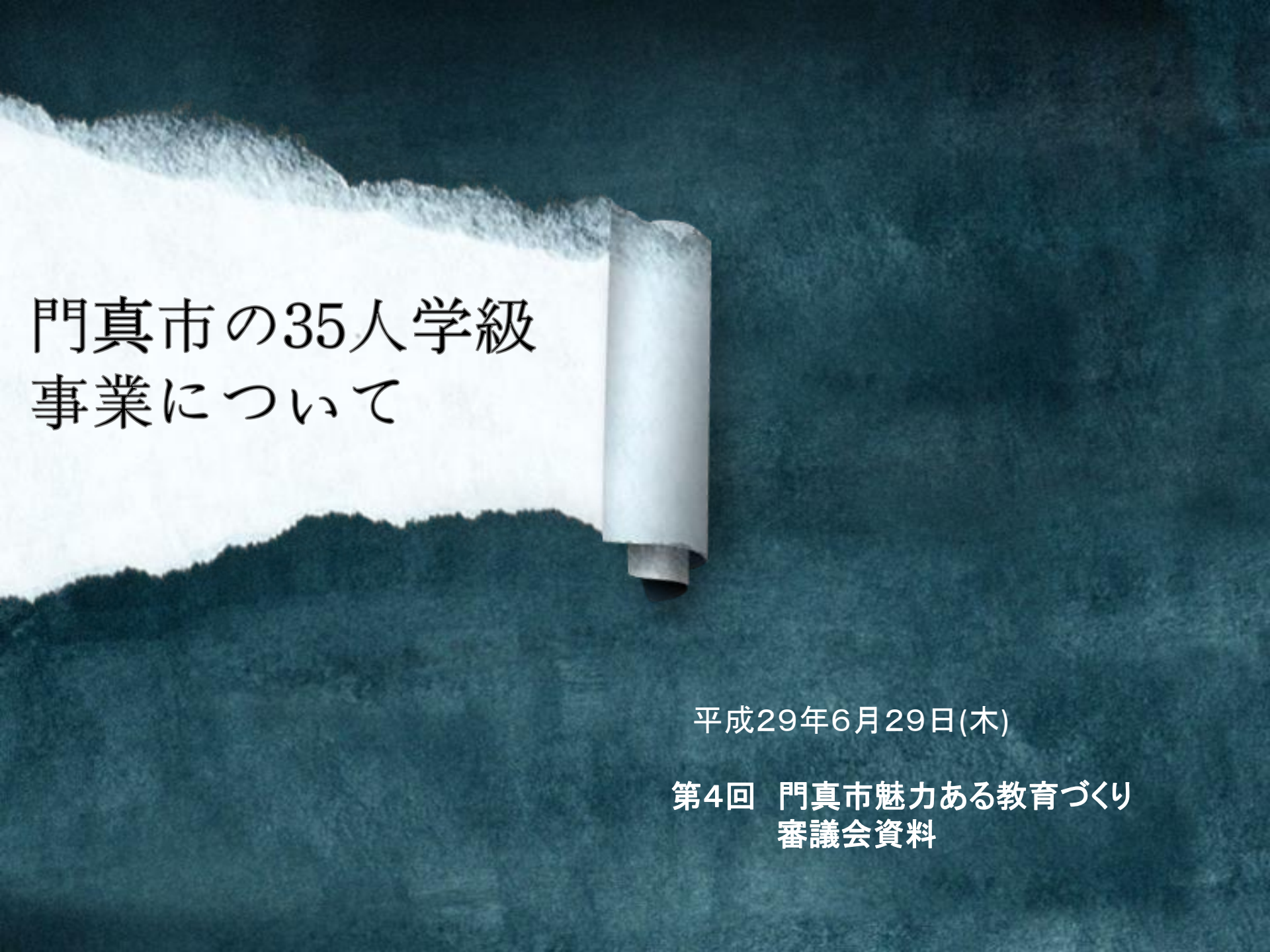




門真市の35人学級 事業について

平成29年6月29日(木)

第4回 門真市魅力ある教育づくり
審議会資料

前回の審議会での御意見

（佐久間部会長より）

- ・ 他府県の取組状況について
- ・ どのような周辺サポート事例があるか

（新谷部会長より）

- ・ 中学校３年生の学テ結果について
- ・ 社会性や学習姿勢への影響について

本日の説明内容

- ・ 35人学級事業の取組実績
- ・ 35人学級の効果検証
- ・ 他府県等の取組事例について
- ・ 事業実施における課題について

- 35人学級事業の取組実績
- 35人学級の効果検証
- 他府県等の取組事例について
- 事業実施における課題について

学力向上対策委員会（平成24年度）

「4つの提言」に基づく

教育委員会の施策

授業改善

- **小5・6、中1で35人学級を実施**
- 門真市授業スタンダードの策定

生徒指導 改善

- 子ども悩み相談サポートチームの設置
- 門真市開発的生徒指導の策定

家庭学習 改善

- 「学びのススメ」(家庭学習手引き)作成
- 学び舎キッズ・サタスタの実施

学校組織 改善

- 学校組織モデルの作成
- 学校図書館司書を配置(H29～全校配置)

学力向上

これまでの取組実績について

小学校5年生・6年生、中学校1年生で、35人を超えるクラスになる場合は、任期付教員を市費で配置することにより、35人以下学級を実現。

配置実績

(単位:人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校 8人 中学校 2人	小学校 5人 中学校 4人	小学校 5人 中学校 4人	小学校 6人 中学校 5人

平均学級編制人数 (市内全体)

(単位:人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小5 29→27 小6 33→27 中1 35→33	小5 30→28 小6 31→27 中1 37→32	小5 31→28 小6 30→28 中1 36→31	小5 29→28 小6 31→26 中1 38→31

- 35人学級事業の取組実績
- 35人学級の効果検証
- 他府県等の取組事例について
- 事業実施における課題について

効果検証について

●定量的な効果検証が難しい理由

全国学テの数値が
向上したけど、テスト
を受けた子どもたち
は違うので、、、。

良い結果が見られ
たけど、35人学級
の効果かどうかは、
わからない、、、。

任期付教員を配置
しなくても、府基準
で35人以下学級に
なっているので、、、。

効果検証について

【検証方法】 定量的な検証については、

府費・市費によらず、

「1クラスの数」と

「各項目」の相関に注目して

検証する。

効果検証について

（１）定量的な検証について

- ・ 学力テスト結果について（小６、中３）
- ・ 質問紙調査について（小６、中３）

効果検証について

(1)市全体の大きな視点での効果検証

過去6年間の学力テスト（小6）

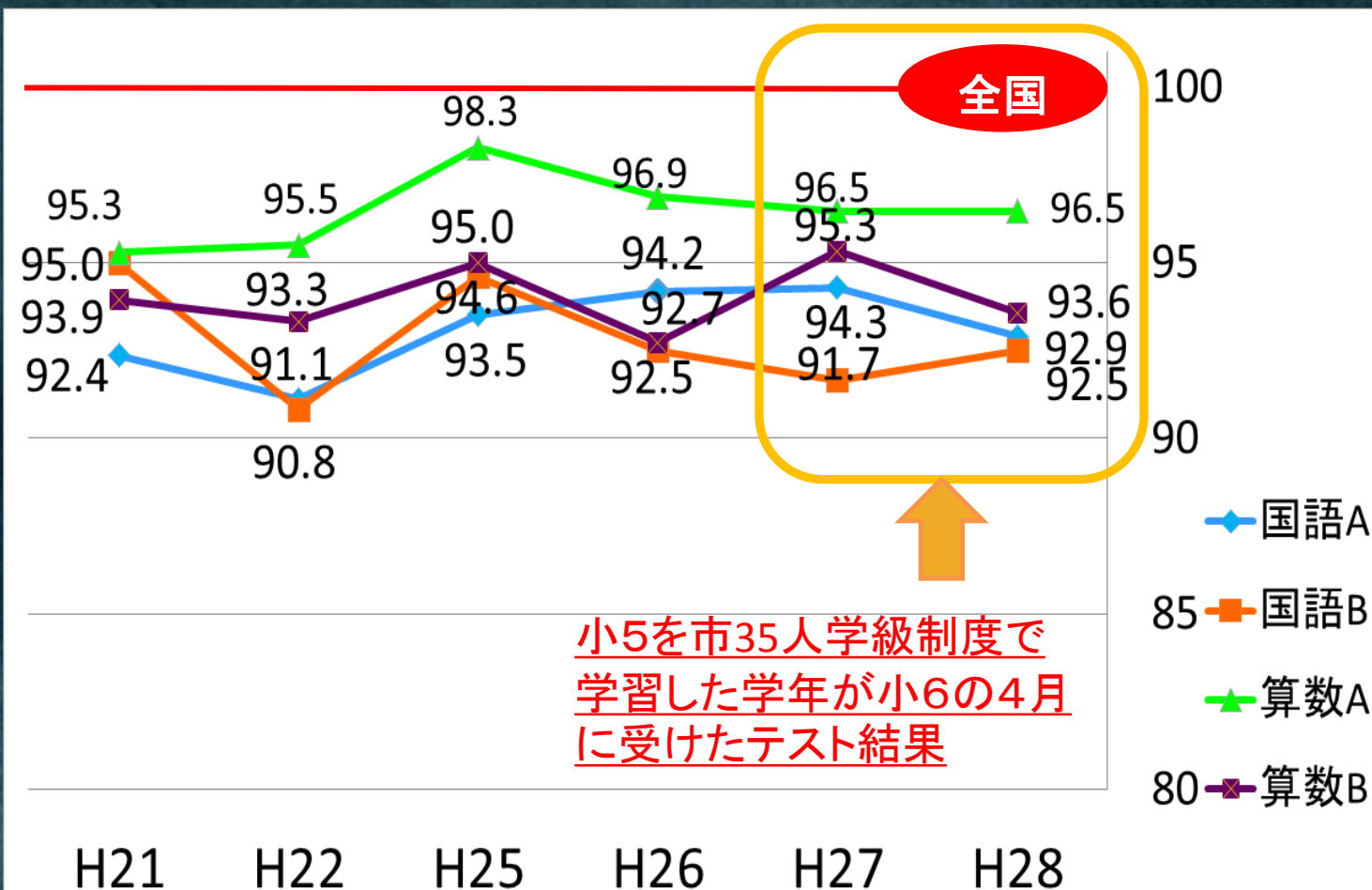
【予想される効果（小学校）】

H26年度から35人編制を行っているので、
H27以降の学テ結果は、良くなっている
のではないかと？

本市小学生の学力状況

全国平均との比較（全国学力状況調査より）

定量（学テ）－全体（小）



効果検証について

過去6年間の学力テスト（中3）

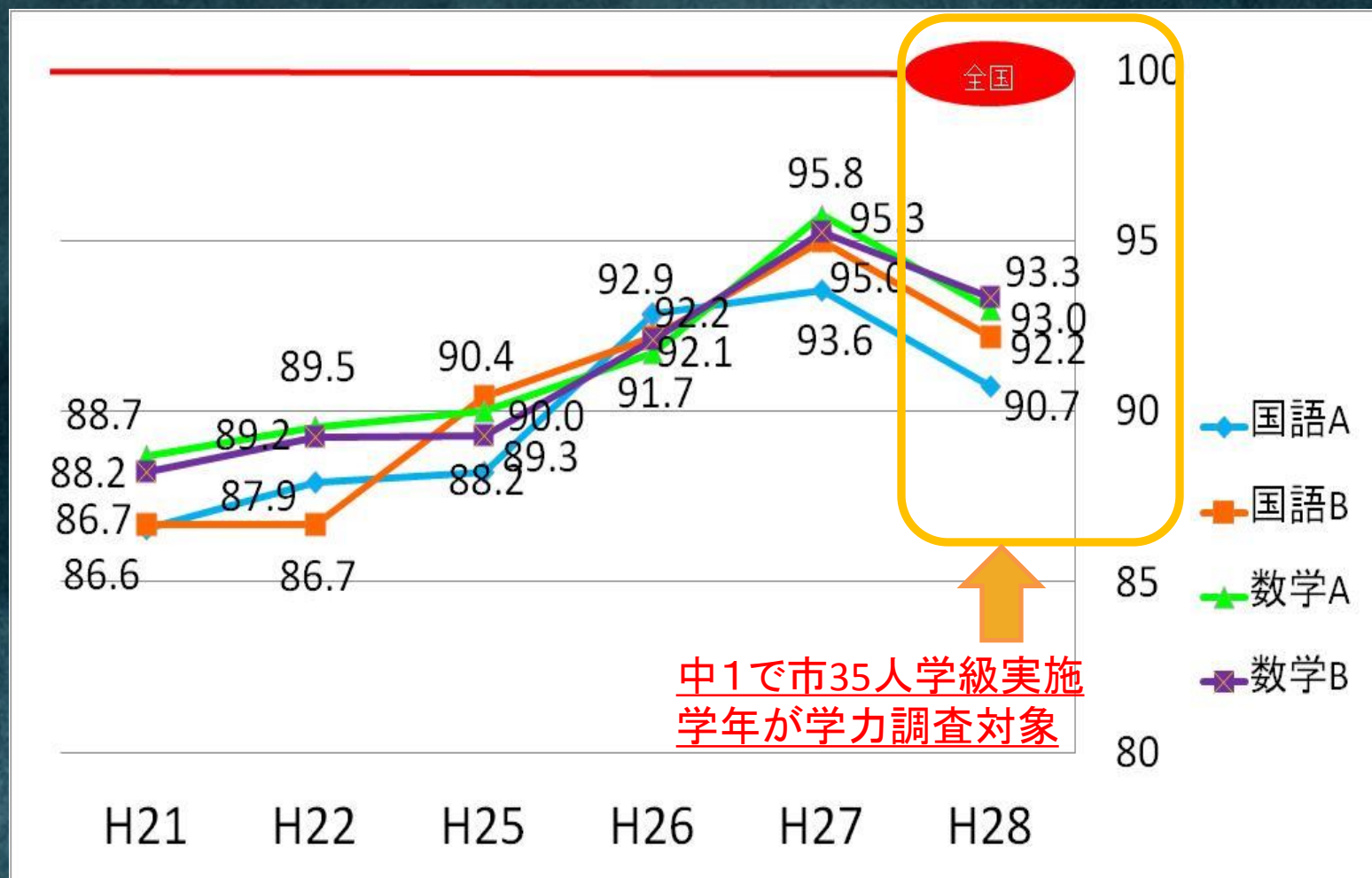
【予想される効果（中学校）】

H26～H29は、小5・小6・中1において
35人編制を行っているので、H28以降の
学テ結果は、良くなっているのではないか？

本市中学生の学力状況

全国平均との比較（全国学力状況調査より）

定量(学テ)－全体(中)



35人学級編制人数と 学テ結果の相関について（小学校）

定量（学テ）－相関（小）

（2）同一集団に注目して検証を行う

小3～小5の3年間でどのような学級人数規模で過ごしたかに着目した。その学年集団が、6年生に進級し、全国学テを4月に受けた際の、

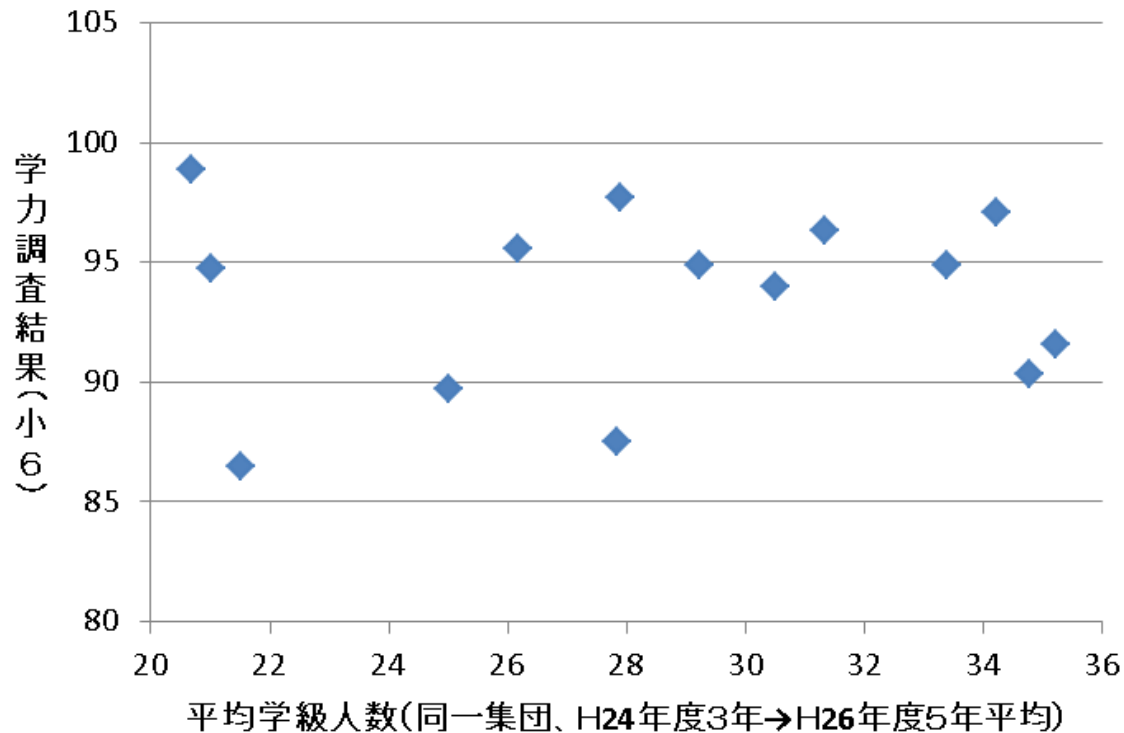
横軸：3～5年の平均学級人数

縦軸：全国学テの標準化得点

を比較した。

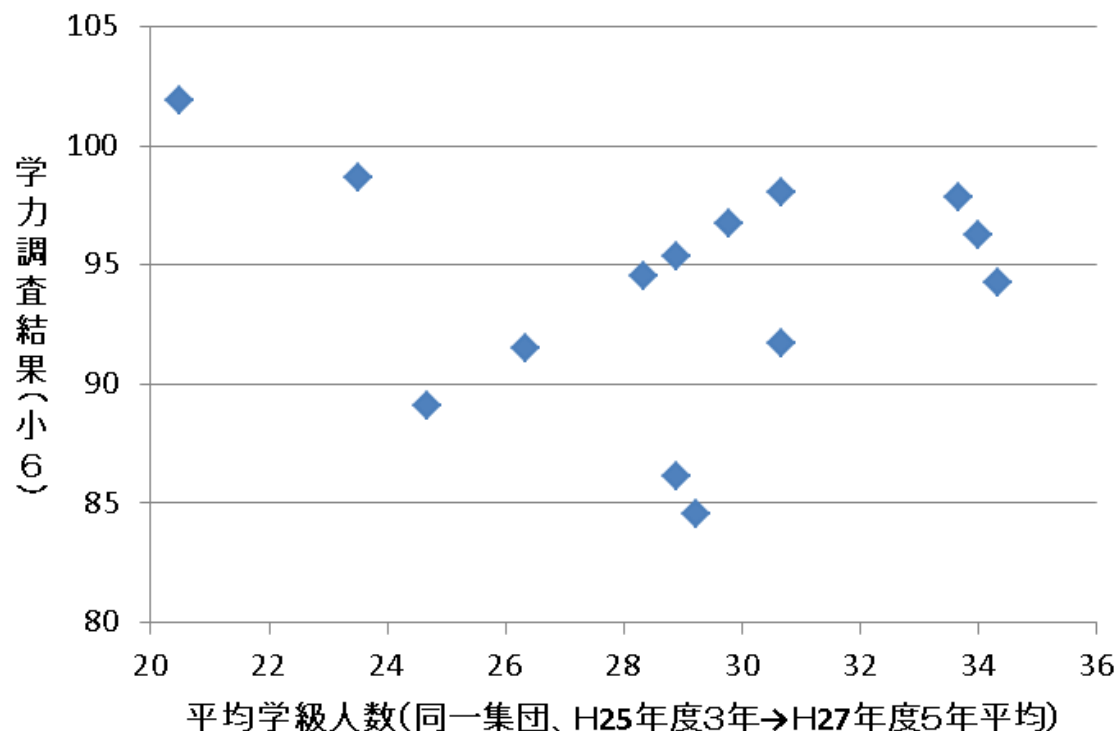
35人学級編制人数と 学テ結果の相関について（小学校）

学力調査結果とクラス人数の相関
(H27年度6年生 4月実施分)



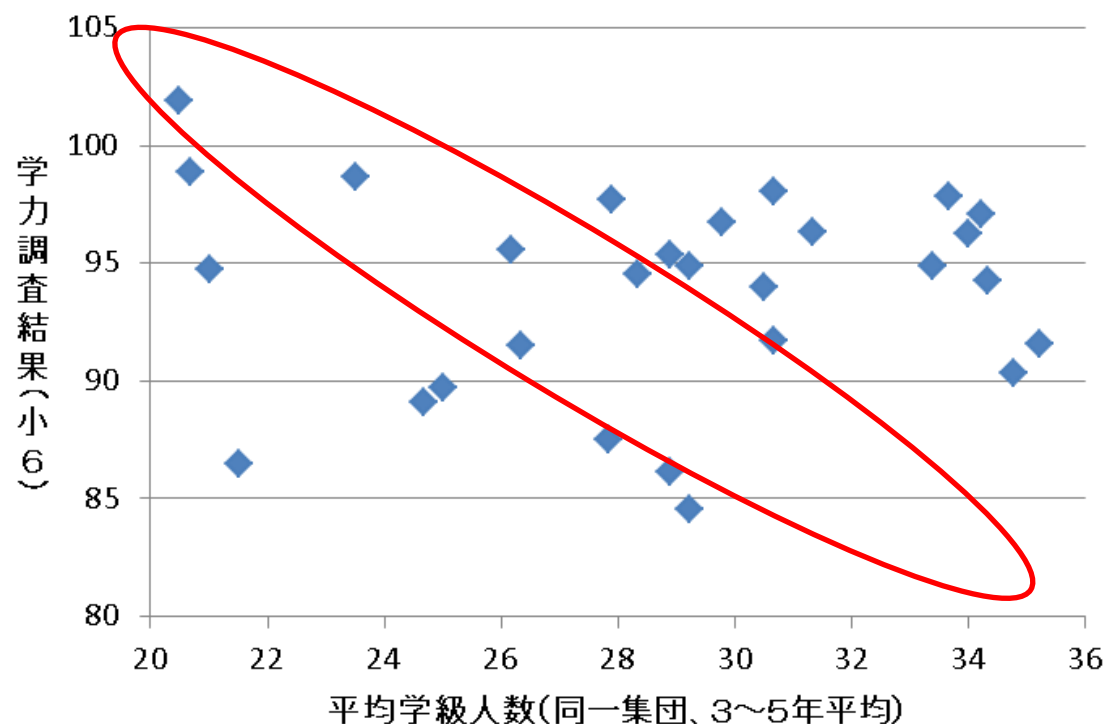
35人学級編制人数と 学テ結果の相関について（小学校）

**学力調査結果とクラス人数の相関
(H28年度6年生 4月実施分)**



35人学級編制人数と 学テ結果の相関について（小学校）

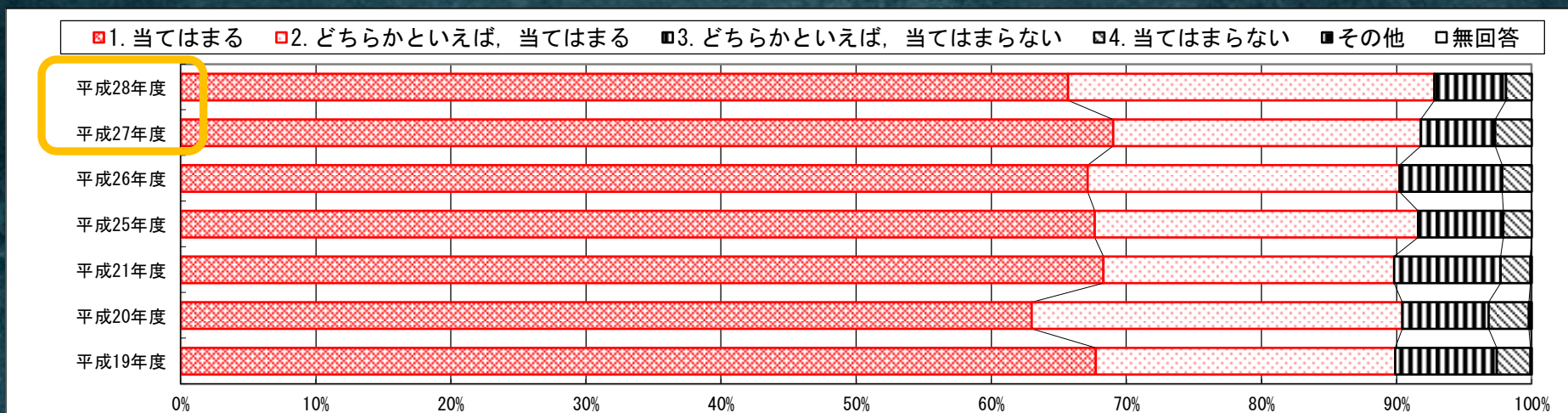
学力調査結果とクラス人数の相関
(H27年度・H28年度)



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（小学校）

定量（質問紙）－全体（小）①

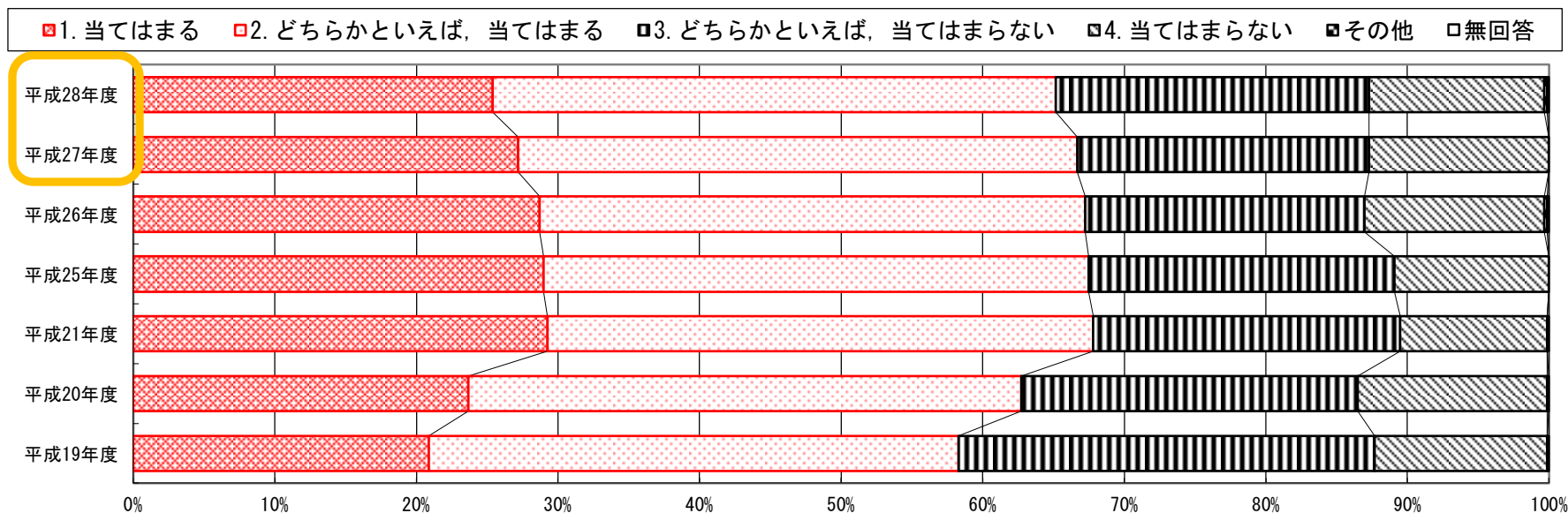
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（小学校）

定量（質問紙）－全体（小）②

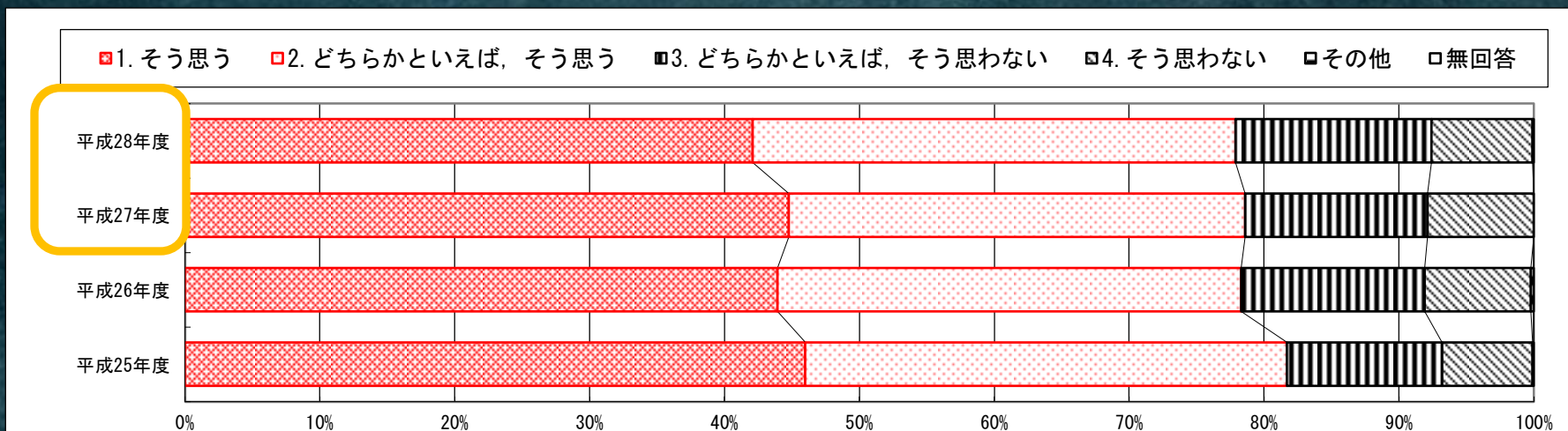
自分には、よいところがあると思いますか。



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（小学校）

定量（質問紙）－全体（小）③

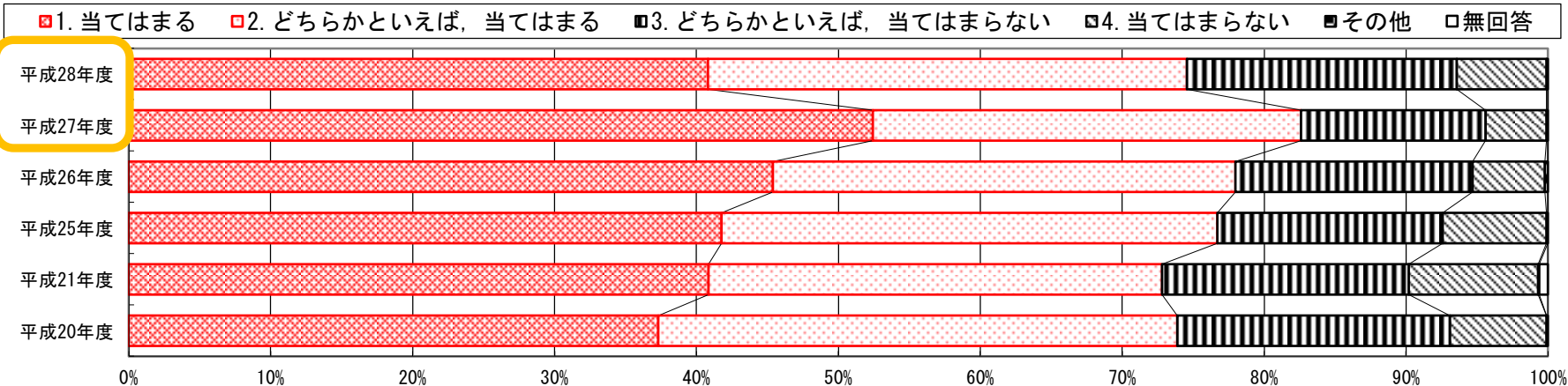
学校に行くのは、楽しいと思いますか。



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（小学校）

定量（質問紙）－全体（小）④

5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（小学校）

定量（質問紙）－全体（小）⑤

授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。

■1. その場で先生に尋ねる

■2. 授業が終わってから先生に尋ねに行く

■3. 友達に尋ねる

■4. 家の人に尋ねる

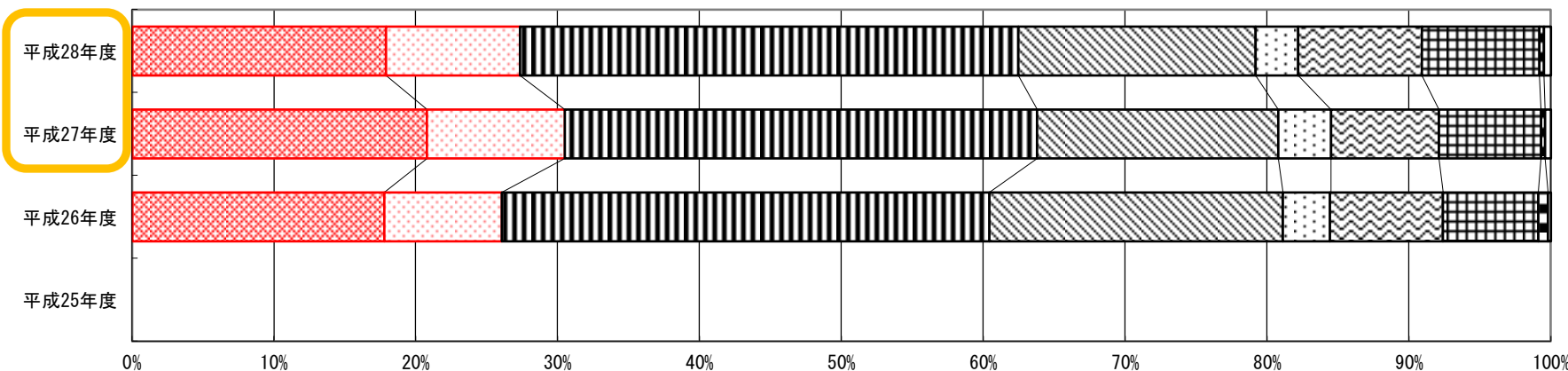
■5. 学習塾の先生（家庭教師も含む）に尋ねる

■6. 自分で調べる

■7. そのままにしておく

□その他

□無回答

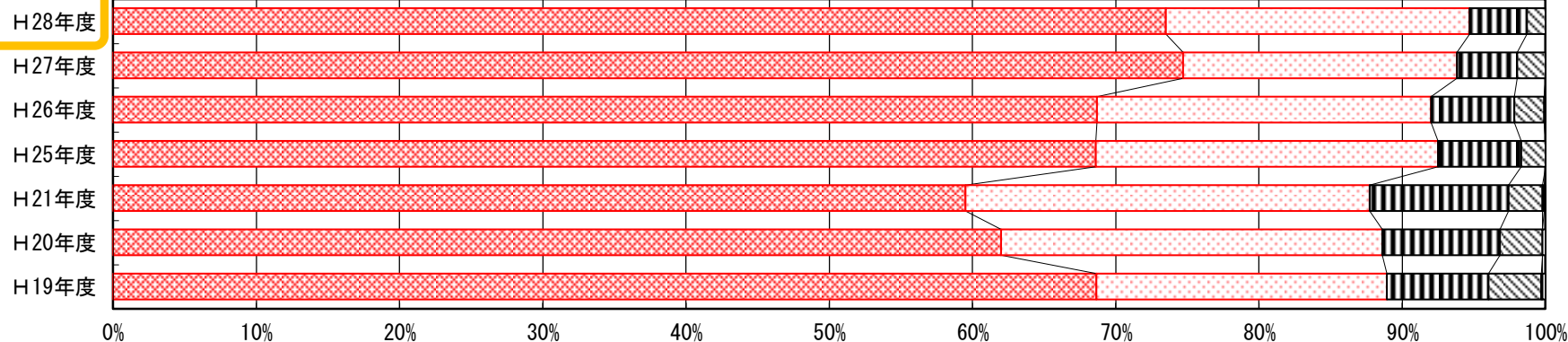


全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（中学校）

定量（質問紙）－全体（中）①

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

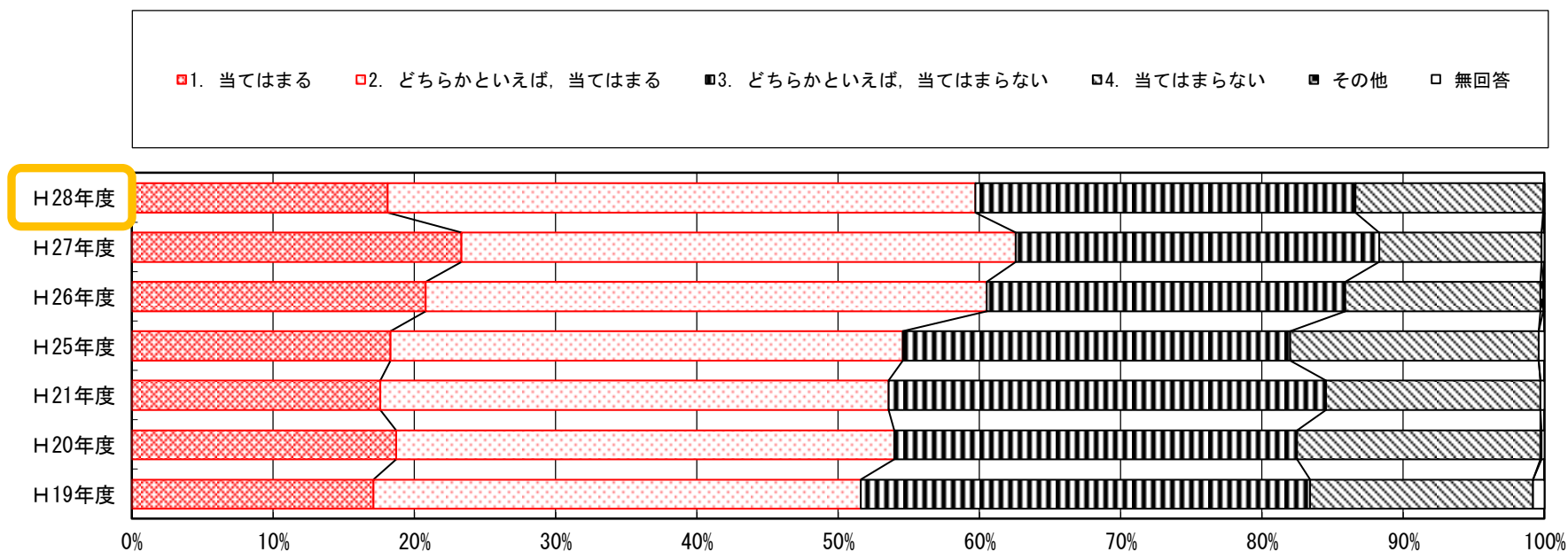
■ 1. 当てはまる ■ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない ■ 4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（中学校）

定量（質問紙）－全体（中）②

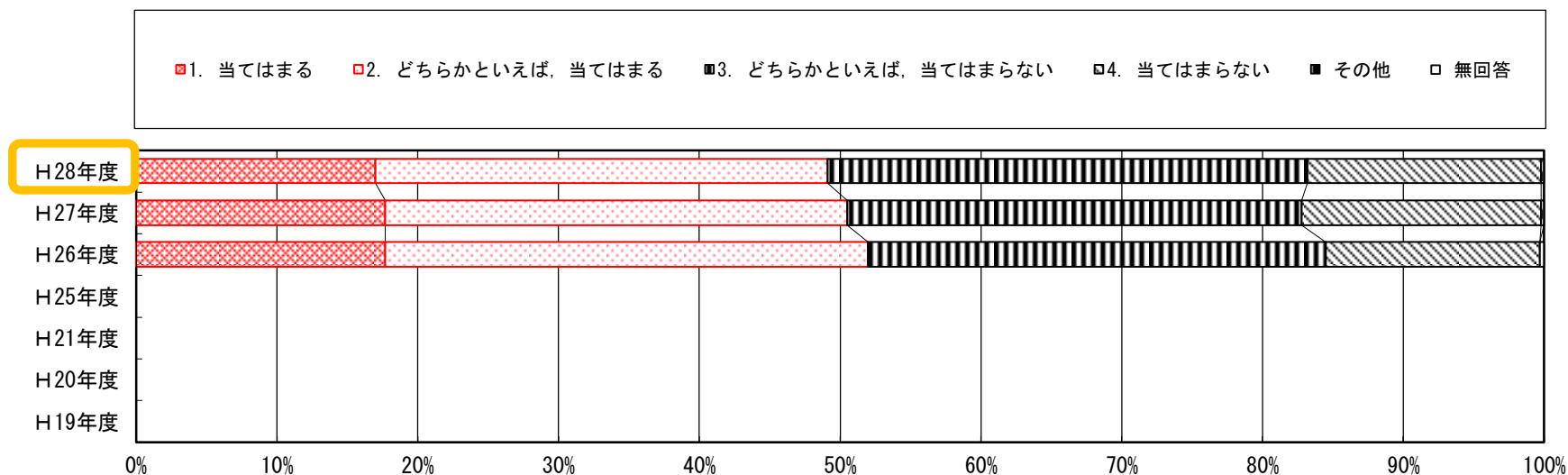
自分には、よいところがあると思いますか。



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（中学校）

定量（質問紙）－全体（中）③

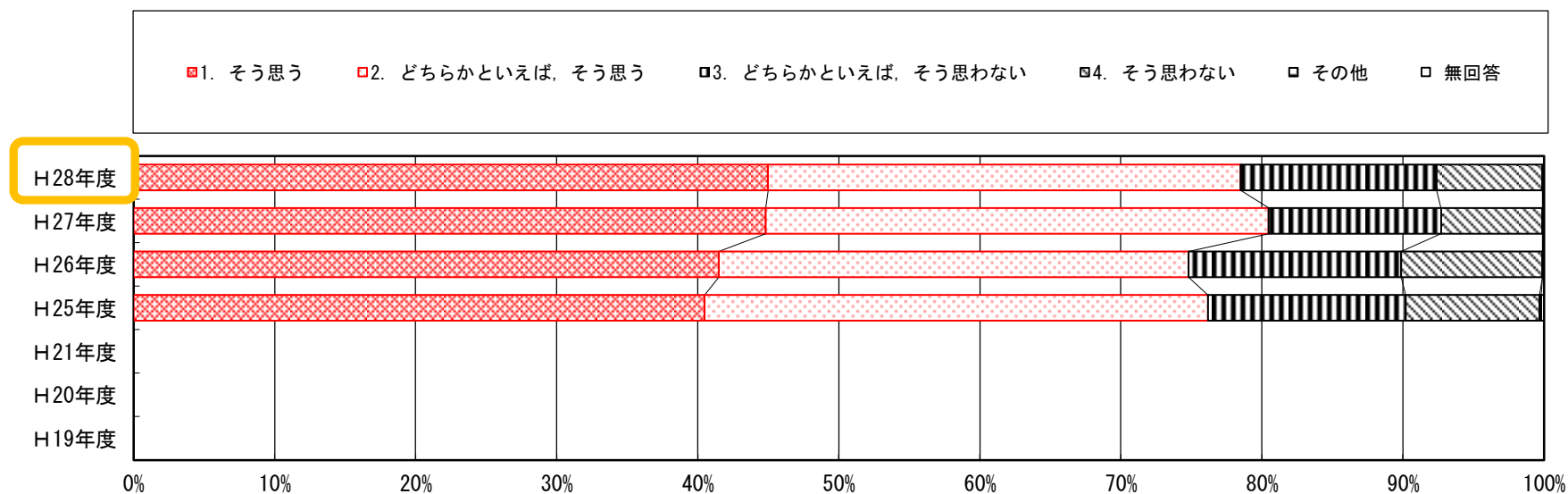
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。



全国学力学習状況調査における 児童・生徒質問紙調査結果について（中学校）

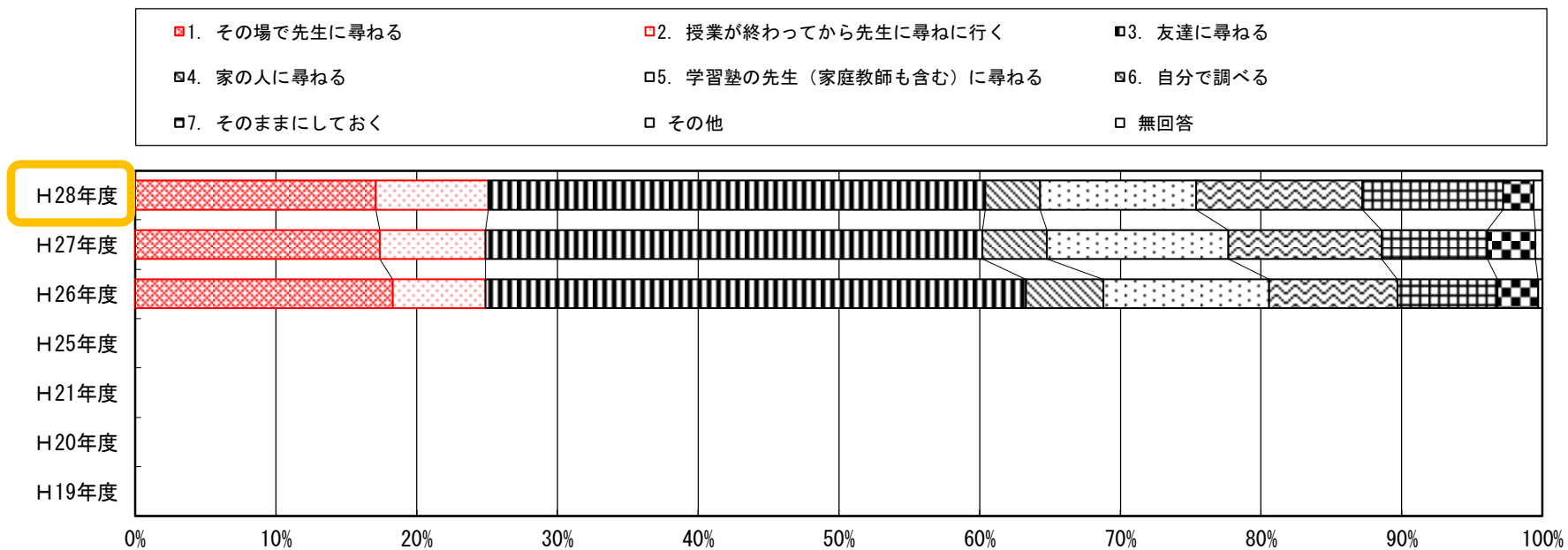
定量（質問紙）－全体（中）④

学校に行くのは、楽しいと思いますか。



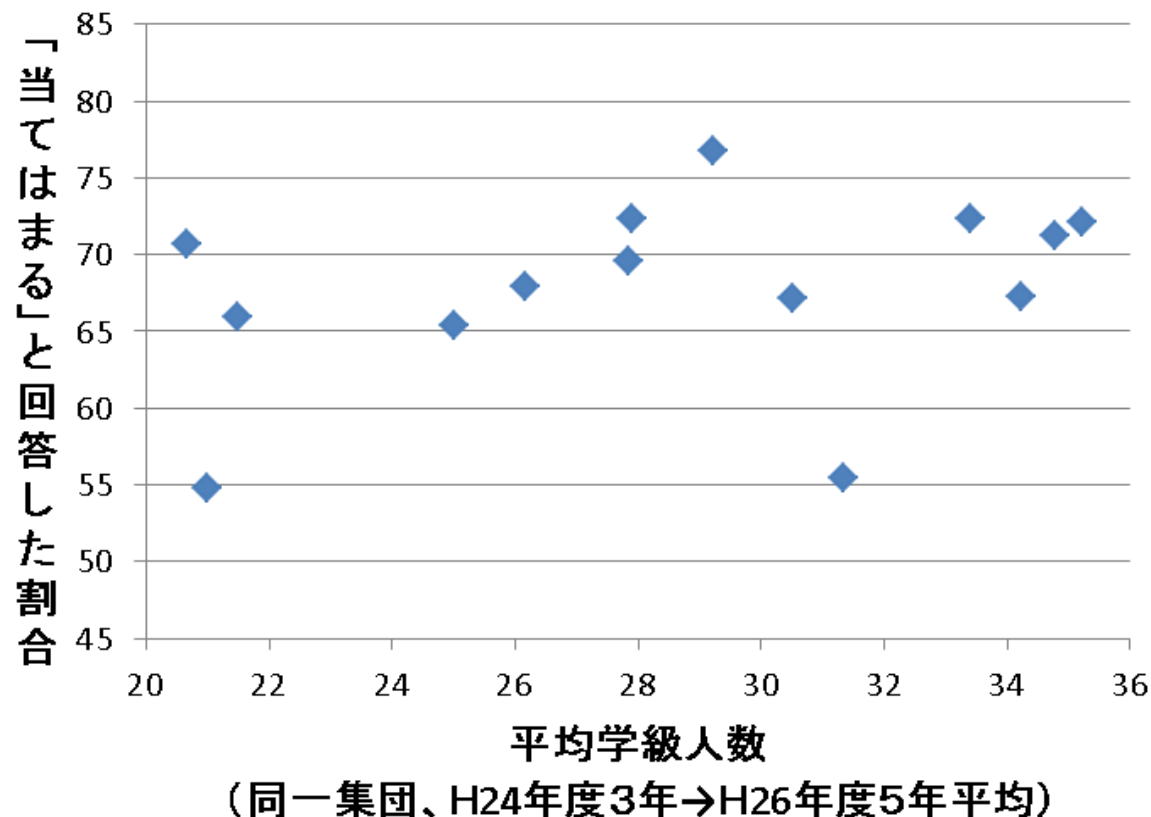
定量(質問紙)－全体(中)⑤

授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。



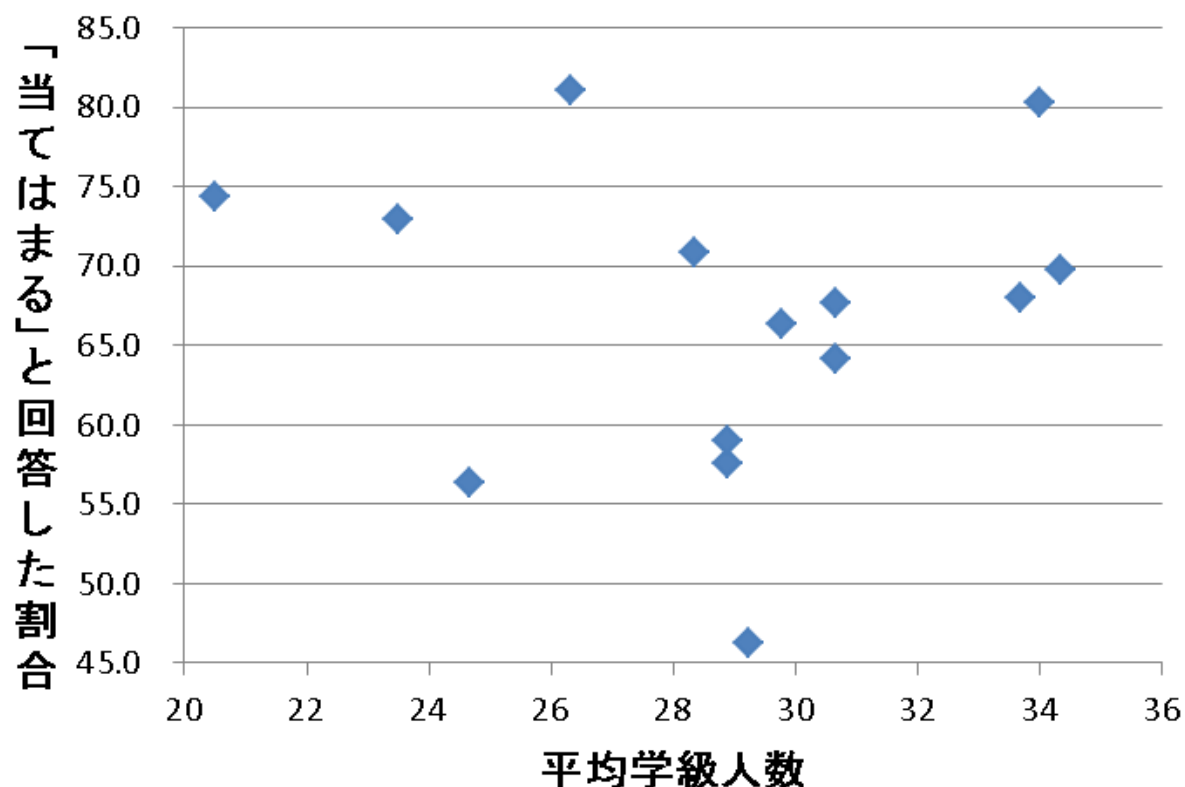
35人学級編制人数と 質問紙調査結果の相関について（小学校）

「物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがありますか」とクラス人数の相関(H27・小6)



35人学級編制人数と 質問紙調査結果の相関について（小学校）

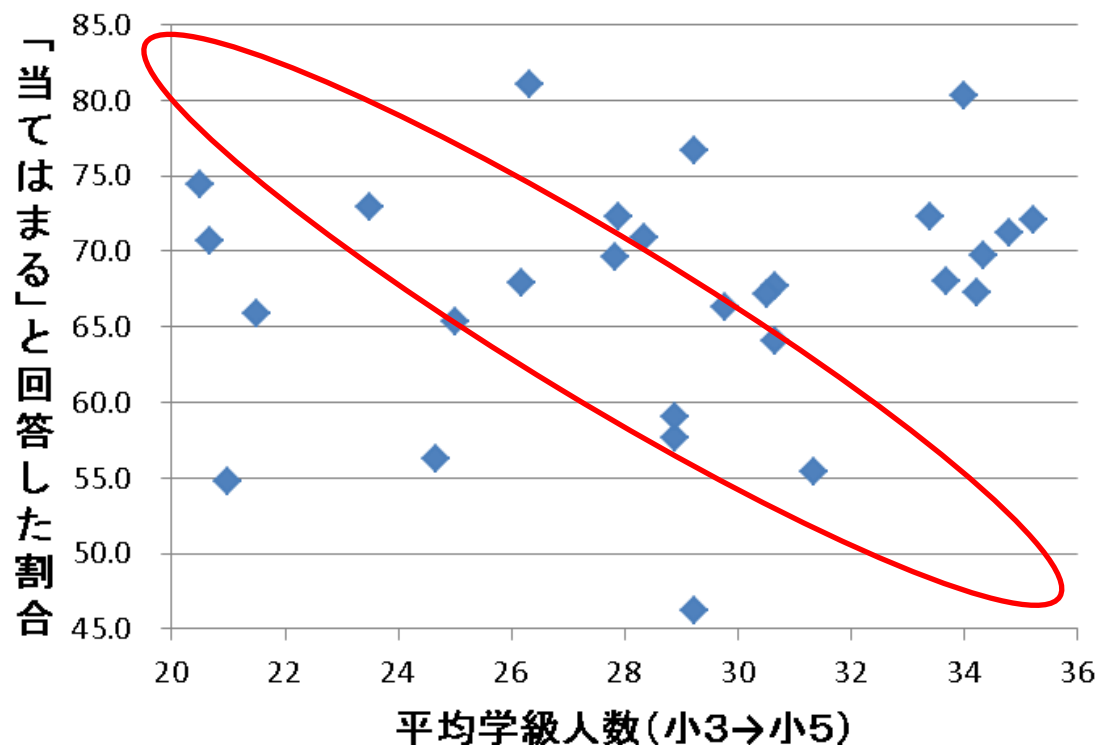
「物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがありますか」とクラス人数の相関(H28・小6)



(同一集団、H25年度3年→H27年度5年平均)

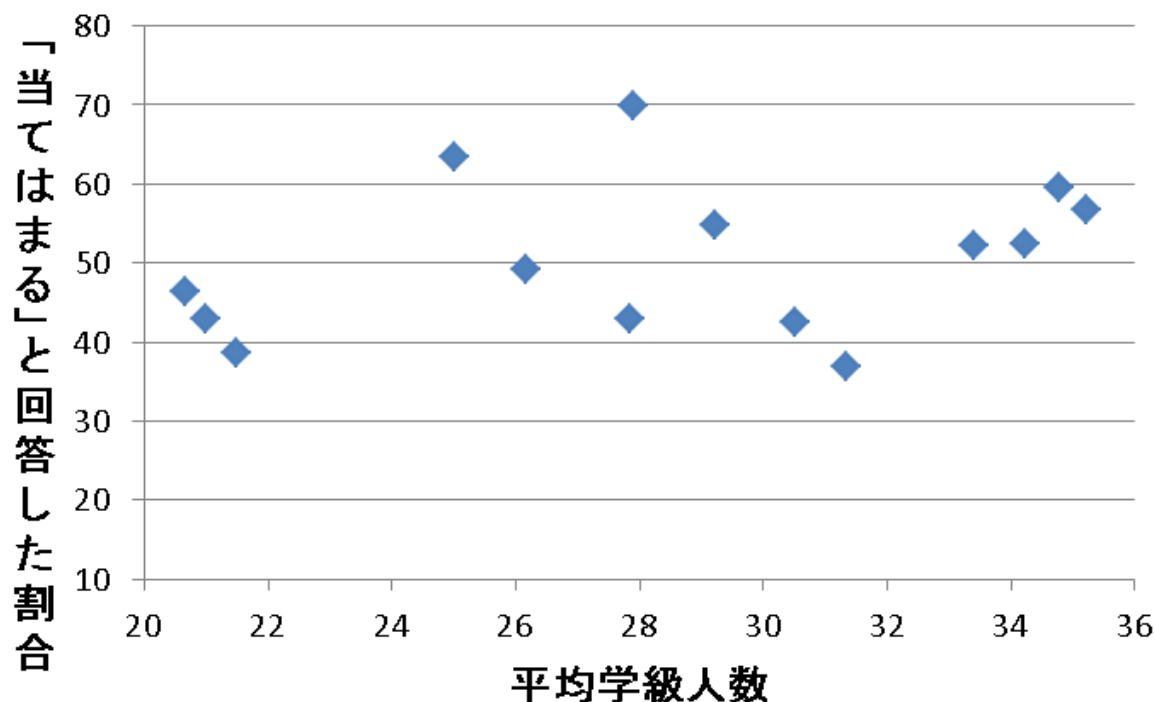
35人学級編制人数と 質問紙調査結果の相関について（小学校）

「物事を最後までやり遂げて嬉しかったことが
ありますか」とクラス人数の相関
(H27とH28の結果を同時に表示)



35人学級編制人数と 質問紙調査結果の相関について（小学校）

「5年生までに受けた授業では、自分の考えを
発表する機会が与えられていたと思います
か」とクラス人数の相関(H27・6年)

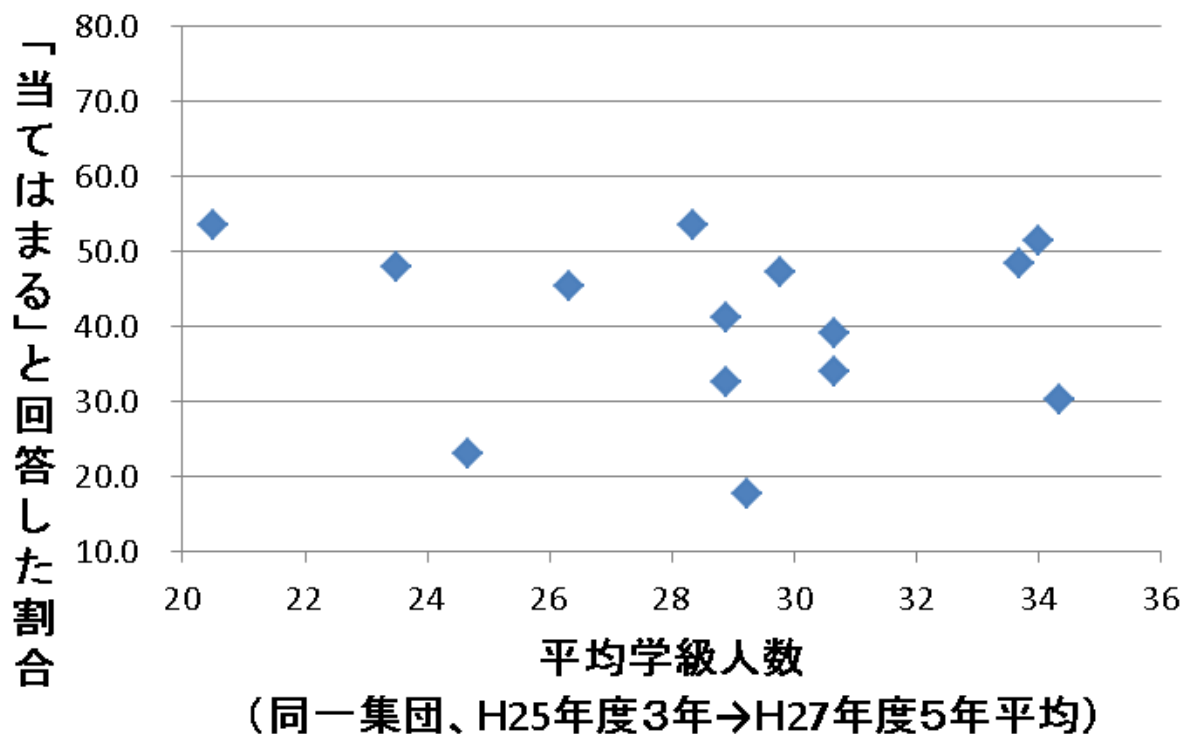


(同一集団、H24年度3年→H26年度5年平均)

35人学級編制人数と 質問紙調査結果の相関について（小学校）

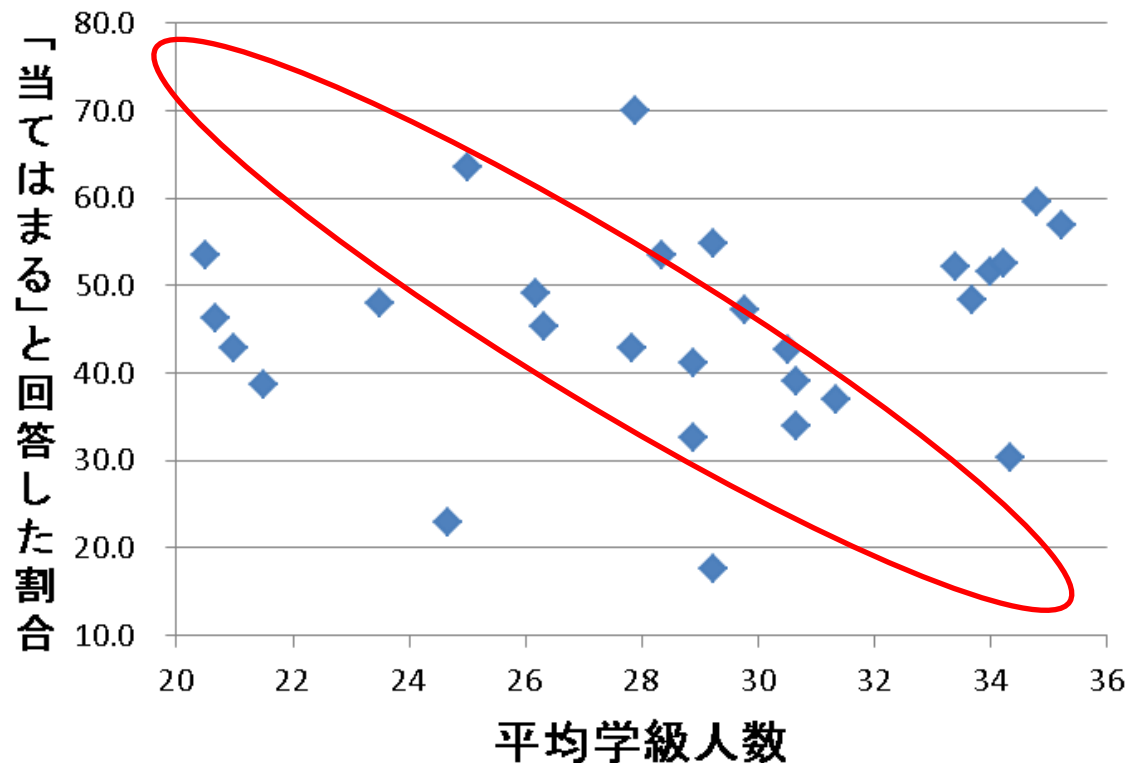
定量（質問紙）－相関（小）②H28

「5年生までに受けた授業では、自分の考えを
発表する機会が与えられていたと思います
か」とクラス人数の相関（H28・6年）



35人学級編制人数と 質問紙調査結果の相関について（小学校）

「5年生までに受けた授業では、自分の考えを
発表する機会が与えられていたと思います
か」とクラス人数の相関(H27・28)



効果検証について

(2) 定性的な検証について

- ・ 任期付教員配置校でのアンケート調査

学校アンケートより

- 机間指導を丁寧に行うことができる。
- 教室に空間的なゆとりができた。
- 子どもが、手をあげる回数が増えた。
- ノート等の提出物のチェックを行い、きめ細かく指導を行うことができる。
- 音楽の楽器が全体に行きわたり、指導が充実した。（技術家庭、理科等も）
- 体育での活動量が増えた。
- 保護者との連絡を密に行える。
- 教員の多忙化解消にもつながっている。

少人数学級事業の効果検証について

（定量的検証まとめ）

- ・ 市全体としてみると「物事を最後までやり遂げる」等の一部の項目で効果が見られる。
- ・ 学級編制人数との相関に注目した分析を行ったが、学テ結果・質問紙調査共に相関は見られなかった。

（定性的検証まとめ）

- ・ きめ細かく指導を行なえたとの意見が多い。
- ・ 多忙化改善に役立っているとの意見がある。

- 35人学級事業の取組実績
- 35人学級の効果検証
- 他府県等の取組事例について
- 事業実施における課題について

他府県等の取組事例について①

（国加配定数の目的以外で独自の措置例 ※10都道府県）

- ・ 中学校免許外教科担当解消
- ・ 通常の学級における特別支援
- ・ 学力向上事業
- ・ 小規模校支援
- ・ 課題別パイロット事業
- ・ 学力・進路支援
- ・ 特別支援学級支援

「少人数学級や授業革新及びチーム学校の推進の
ための教職員体制の在り方について」
全国都道府県教育長協議会（平成28年3月）

他府県等の取組事例について②

（都道府県独自で予算化した専門スタッフ ※13県）

- ・ スクールカウンセラー
- ・ 相談員
- ・ 生徒指導関係
- ・ 学習サポート等
- ・ 学習支援アドバイザー等
- ・ スクールソーシャルワーカー

「少人数学級や授業革新及びチーム学校の推進の
ための教職員体制の在り方について」
全国都道府県教育長協議会（平成28年3月）

- 35人学級事業の取組実績
- 35人学級の効果検証
- 他府県等の取組事例について
- 事業実施における課題について

事業実施における課題について

「学校として少人数学級編制を進める上での課題がある」と

36県（76.6%）が回答

「少人数学級や授業革新及びチーム学校の推進のための教職員体制の在り方について」より
全国都道府県教育長協議会（平成28年3月）

<課題の内容>

- ・ 担任を務められる教員の確保
- ・ 習熟度別学習や特別支援、生徒指導等、学校として他の望ましい使い方がある
- ・ 少人数学級編制の学年から通常学級編制の学年に進級した際に、集団が大きくなることに伴う環境の変化に対応できない児童の存在とそのことに対する指導
- ・ 中学校で35人学級編制を行う場合、増学級数と同数の教員数を加配しているため、各教科担当の時数が増加し負担が大きくなる。

事業実施における課題について

- ・ 加配教員の活用について、少人数学級編制と少人数指導の選択の裁量が学校にあるかどうか。

(1) 裁量あり→21 (44.7%)

(2) 裁量なし→26 (55.3%)

「少人数学級や授業革新及びチーム学校の推進のための教職員体制の在り方について」より
全国都道府県教育長協議会(平成28年3月)

ご清聴ありがとう
ございました。